



7月の園だより

令和6年7月1日
目黒区立不動保育園園長

今年の梅雨入りは遅く短期間に集中して雨が降るようです。子どもたちは「今日も雨…」と言わずに済みそうですが、例年より蒸し暑く、気温も高いことが気になります。体調を崩さないように気を付けていきましょう。

5歳児クラスが東部地区の公立、私立保育園と交流会を行う予定でしたが、急な暑さのために集まることができなくなり、初の顔合わせは秋に先送りされました。不動保育園の5歳児クラスは今年度在籍数が少ないため、交流をすることでたくさん子どもたちがいることを知り、一緒に遊びながら様々な経験を通して一人ひとりが意欲的に活動に取り組めるようにしていきたいと思いをします。

今月は夏まつりや七夕会、プール(水遊び)など楽しい行事が続きます。夏まつりではヨーヨー釣り、宝釣り、的あて、ワニワニパニックで遊びます。5歳児クラスは宝釣りの景品を丁寧に作ったり、当日お店を手伝ったりしてくれる予定です。3, 4, 5歳児クラスは2枚目で紹介している装飾も作って行事を盛り上げてくれます。近日中に玄関に飾りますのでご覧ください。これからも行事に楽しく参加できるように計画していきたいと思いをします。

夏ならではの水遊び、プール遊びを楽しむ中で、水の事故に十分注意しながら、暑い夏を気持ちよく過ごせるように工夫していきたいと思いをします。保護者の皆様には毎日の準備、検温、お子さんに朝ごはんをしっかりとらせていただくなど、ご協力をよろしくお願いをいたします。今年度も地域の私立園が屋上のスペースを活用してプール遊びをしに来園します。園舎前にヒーローバスが止まります。安全面に気を付けてまいります。ご理解ご協力をお願いします。

今月の予定



夏まつり . . . (全園児)
七夕会 . . . (3. 4. 5 歳児)
プール開き . . . (3. 4. 5 歳児)

中旬
・避難訓練 (全園児)
・身体計測 (全園児)

*七夕の短冊をお渡しします、お子さんと一緒にクラス前の笹に飾ってください。

感 触 遊 び



《すずらん組 (0歳児クラス)》

テラスで遊ぶため保育士がトンネルの入っているビニール袋を取り出すと「これなあに？」と子どもたちが近づき触りだしました。するとビニール独特の触り心地やシャカシャカと音が鳴り「なんだかおもしろそう」と感じたようで、手を滑らせたり引っ張ってみたりして布や玩具とは違う感触を楽しんでいました。また「これもあるよ」と圧縮袋に水やスーパーボールを入れたウォータークッションを出してみました。袋の中に入っているスーパーボールが動くのを見て見つめては触ろうとしたり、上に乗って踏んでみたり手で叩いたりして遊んでいます。保育士が「冷たいねえ」と言うのと見つめて、水のひんやりとした感触を感じている姿がありました。これからも初めての感触を楽しめるように、一緒に楽しんでいきます。

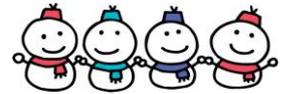


《チューリップ組(1歳児クラス)》

園庭のタライに砂を入れ、さらに水を入れると子どもたちは興味深々で見えています。保育士が「ドロドロ」と言いながらシャベルでかき混ぜると、子どもたちも同じようにシャベルを持ってきてかき混ぜています。今度は保育士が泥団子を作り子どもの手の平に乗せると“なんだろう”とじっと見た後“むぎゅっ”とつぶし、バラバラと落ちてしまった泥を見つめています。もう一度感触を味わいたくなったのか、保育士の顔を見上げ「もっかい(もう1回)」と訴えます。泥団子を手渡すと“むぎゅっ”と握り、泥のつぶれる感触を繰り返し楽しんでいました。今後はトトロの泥を手足で触ってみたり、片栗粉やフィンガーペインティング等、様々な感触を体験しながら友達や保育士と楽しんでいきたいと思います。

《タンポポ組(2歳児クラス)》

保育士がテーブルにシートを敷いて準備を始めると「粘土かな」と子どもたちが集まってきます。粘土をちぎり細長くして「ミズだよ」と言ったり、丸い玉も上手に作れるようになり「いっぱい」とシートの上に並べたりしていました。すると一人の子が2つを重ねて遊びだしました。その姿を見て「雪だるまだ」と発見し、みんなで重ねたくさんの雪だるまを作っていました。また、平たくした粘土にちぎった粘土を乗せて「ピザにチーズをのつけたの」と見せてくれる姿も見られます。手を使って粘土を丸めることやちぎることで粘土の感触を楽しんでいます。これからも様々な素材に触れ、表現することを楽しんでいきたいと思います。



夏まつり ～装飾づくり～



《コスモス組(3歳児クラス)》 「うちわ」

和紙を子どもたちと一緒に小さく三角形に折り畳み、好きな色の絵の具に付けます。子どもたちは“どんな模様になっているのか”わくわく、ドキドキしながら、そっと1枚ずつ広げています。広げると模様が大きくなっていく様子を見て「うわー！」と驚いたり「お花みたい」「ちょうちょみたいだね」と身近なものに見立て表現しています。裏面には、子どもたちの遊びの中でもよく登場するオバケを折り紙で作って貼りました。「優しいオバケにする」「怖いオバケがいい」と、それぞれが持つオバケのイメージで顔を描き、かわいいうちわが出来上がりました。制作が大好きな子どもたちです。これからも様々な素材や方法で制作を楽しんでいきたいと思います。



《マーガレット組(4歳児クラス)》 「金魚の風鈴」

ガチャガチャのカプセルにちぎった花紙をつけて金魚の体を作っていきます。花紙に触ったときは「やわらかい」「ふわふわ」と言っていました。いざちぎろうとすると紙の繊維が引っ掛かり「固くなった」と変化に驚いたり、ちぎった花紙が偶然、鼻息や自分の吐いた息の勢いで飛ぶと「あっ飛んだ」と、花紙の軽さに面白さを感じていました。金魚の目を描くとき保育士が「どんな気持ちの目にしようか」と聞くと「色んな魚に会えて嬉しい目」「魚とぶつかって痛くて悲しい目」など金魚がどんな気持ちなのかイメージして楽しんで描いていました。これからも色々な素材や用具を使いながら子どもたちの気付きを大切に、制作する楽しさを繰り返し経験できるよう活動していきます。



《ヒマワリ組(5歳児クラス)》 「ちょうちん」

ちょうちん作りでは、風船を膨らませて更半紙をみずのりで貼っていきます。みずのりを作る過程でのりと水を混ぜた子どもたちは「うわ、ヌルヌルする」と初めは躊躇していましたが「なんか気持ちよくなってきた」と感触を楽しみ始めていました。更半紙をみずのりに付けて風船に貼っていくと、べたべたと付いていくのを見ながら「これさ、本当に固まるのかな」「固くならなかったらどうする」と言いながら隙間を埋めるように貼っていきます。一日置いて触ってみると「先生！本当に固くなった！」と前日との違いに喜んでいました。これからも作る過程での発見や、友達と一緒にイメージを出し合い協力しながら一つのものを作っていく楽しさを、味わえるような機会を作っていきます。